



## 2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月10日

上場会社名 カネ美食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2669 URL <https://www.kanemi-foods.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）今井 善広

問合せ先責任者（役職名）執行役員経営管理本部長（氏名）大谷 浩一郎 TEL 052-879-6111

半期報告書提出予定日 2025年10月14日 配当支払開始予定日 2025年10月31日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	42,892	△5.4	1,129	△36.4	1,161	△35.4	686	△41.4
2025年2月期中間期	45,360	5.6	1,777	△3.6	1,800	△4.0	1,172	△3.6

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	71.03	—
2025年2月期中間期	121.22	—

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期中間期	38,125	28,944	75.9	3,057.52
2025年2月期	37,408	29,083	77.7	3,005.61

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 28,944百万円 2025年2月期 29,083百万円

（注）株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり中間純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2026年2月期中間期 1,013株、2025年2月期中間期 2,182株）に、1株当たり純資産金額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式（2026年2月期中間期 810株、2025年2月期 1,132株）にそれぞれ含めております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2026年2月期	—	19.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,400	△3.4	3,080	0.0	3,110	0.0	1,750	△10.1	180.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期中間期	10,000,000株	2025年2月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	533,292株	2025年2月期	323,494株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年2月期中間期	9,665,167株	2025年2月期中間期	9,675,548株

(注) 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（ＢＢＴ）」に残存する自社の株式は、1株当たり中間純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2025年2月期中間期 2,182株、2026年2月期中間期 1,013株）に含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(親会社の異動)

当社は資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため自己株式の取得を行いました。

これにより、2025年8月20日付で、当社のその他の関係会社であった株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスは実質支配力基準により当社の親会社に該当することとなりました。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
3. 主要な経営指標等の推移 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国の経済は、引き続き堅調に推移するインバウンド需要や企業の賃上げ等により所得環境が改善し、穏やかな回復基調が続いております。一方で、可処分所得については、名目賃金の上昇が続いているものの、依然として物価上昇の影響が大きく、個人消費は底堅さを維持しておりますが、海外経済の不透明感や物価変動など、先行きには引き続き注意が必要な状況が続くものと予想されます。

当業界においても、依然として原材料やエネルギー価格の高止まりが続く中、円安や物流コスト・人件費の上昇も重なり、企業のコスト負担は引き続き高水準で推移しております。また、物価高騰の長期化により消費者の節約志向が一層強まり、厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社は、引き続き既存事業の深堀りや生産体制の整備に注力するとともに、事業規模拡大及び企業価値向上を図ってまいりました。

報告セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

#### ① テナント事業

テナント事業においては新たなMD開発や、きめ細やかな商品政策を推し進め、既存店舗の底上げに注力してまいりました。

店舗展開においては、洋風惣菜店舗「eashion(イーション)」1店舗を新規出店した一方で6店舗を閉店しており、当中間会計期間末における店舗数は前事業年度末に比べ5店舗減少し、285店舗となりました。

また、改装店舗においてはピザやスイーツ等の今まで取り組んでこなかった新たなカテゴリーに挑戦し、潜在需要の掘り起こしに努めるとともに、天ぷら・フライ・巻寿司バイキングを導入し、少量からでも当社の「おいしさ」を楽しんでいただける買い場の提案を行ってまいりました。

これらの結果、テナント事業全体の売上高は前年同期間に比べ3.7%増収の233億23百万円となりました。利益面においては、引き続き外販事業との連携強化により機会損失を削減させたことでセグメント利益は前年同期間に比べ36.5%増益の13億7百万円となりました。

#### ② 外販事業

外販事業においては、インバウンド需要の増加により鉄道系コンビニエンスストアへの納品を押し上げ、順調に推移しました。一方でP P I Hグループへの納品拡大を視野に一部工場において進めておりました政策的な生産調整により外部向けの納品量が一時的に減少しました。

これらの結果、外販事業の売上高は前年同期間に比べ14.5%減収の195億68百万円となりました。利益面では売上の減少に加えて、政策的な生産体制の見直しに伴う一時的なコスト増加の影響もあり、1億78百万円のセグメント損失となりました(前年同期間は8億19百万円のセグメント利益)。

中間会計期間において、セグメント損失となっておりますが、生産調整も一巡したことで2025年6月～2025年8月の会計期間においては損失額が大幅に減少しており、引き続き収益の改善に努めてまいります。

以上の要因により、当中間会計期間の経営成績は、売上高は前年同期間と比べ、5.4%減収の428億92百万円となりました。利益面については、経常利益は前年同期間と比べ35.4%減益の11億61百万円、中間純利益は前年同期間と比べ41.4%減益の6億86百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ7億16百万円増加して381億25百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が18億17百万円減少した一方で、売掛金が20億89百万円、有形固定資産が3億47百万円それぞれ増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ8億56百万円増加して91億80百万円となりました。

この主な要因は、買掛金が6億66百万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億39百万円減少して289億44百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が5億2百万円増加した一方で、自己株式の取得により7億5百万円減少したことなどによります。

これらにより当中間会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末の77.7%から75.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間における現金及び現金同等物 (以下、「資金」という。) の残高は、前年同期間に比べ15億96百万円減少し、171億7百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は前年同期間に比べ7億20百万円減少し、4億59百万円となりました。

この主な要因は、税引前中間純利益が6億71百万円減少したことなどによります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は、前年同期間に比べ6億51百万円増加し、13億84百万円となりました。

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が6億45百万円増加したことなどによります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は、前年同期間に比べ7億6百万円増加し、8億93百万円となりました。

この主な要因は、自己株式の取得による支出が7億6百万円増加したことなどによります。

(3) 業績予想など将来予測情報に関する説明

2025年4月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,925,579	17,107,905
売掛金	5,500,007	7,589,976
製品	2,187	7,097
仕掛品	10,934	16,589
原材料及び貯蔵品	492,200	494,394
前払費用	91,335	185,824
未収入金	43,293	33,447
テナント預け金	129,296	197,010
その他	210,680	12,178
流動資産合計	25,405,516	25,644,424
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,586,439	3,992,106
構築物(純額)	212,700	293,218
機械及び装置(純額)	2,195,902	2,545,469
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	493,155	472,449
土地	2,887,081	2,887,081
リース資産(純額)	84,361	63,196
建設仮勘定	599,136	153,211
有形固定資産合計	10,058,776	10,406,732
無形固定資産		
ソフトウェア	57,312	51,750
ソフトウェア仮勘定	330	330
無形固定資産合計	57,642	52,080
投資その他の資産		
投資有価証券	594,647	686,931
出資金	2,030	2,030
長期前払費用	100,507	97,669
前払年金費用	520,576	625,449
繰延税金資産	304,997	252,176
差入保証金	363,914	358,052
投資その他の資産合計	1,886,673	2,022,309
固定資産合計	12,003,092	12,481,122
資産合計	37,408,608	38,125,546

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,336,457	4,002,592
未払金	1,631,120	1,312,260
未払費用	1,431,785	1,772,538
未払法人税等	584,500	500,400
未払消費税等	317,099	301,782
賞与引当金	581,800	588,100
役員賞与引当金	13,000	7,900
役員株式給付引当金	1,000	2,100
資産除去債務	2,076	—
その他	57,129	323,984
流動負債合計	7,955,969	8,811,658
固定負債		
リース債務	13,064	10,877
長期未払金	1,306	1,087
資産除去債務	349,327	352,227
長期預り保証金	5,028	5,028
その他	74	21
固定負債合計	368,800	369,242
負債合計	8,324,769	9,180,901
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,002,262	2,002,262
資本剰余金		
資本準備金	2,174,336	2,174,336
その他資本剰余金	3,731	3,731
資本剰余金合計	2,178,068	2,178,068
利益剰余金		
利益準備金	81,045	81,045
その他利益剰余金		
別途積立金	10,300,000	10,300,000
繰越利益剰余金	15,186,151	15,688,839
利益剰余金合計	25,567,196	26,069,884
自己株式	△996,267	△1,702,193
株主資本合計	28,751,259	28,548,021
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	332,579	396,623
評価・換算差額等合計	332,579	396,623
純資産合計	29,083,839	28,944,645
負債純資産合計	37,408,608	38,125,546

## (2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	45,360,773	42,892,205
売上原価	37,201,466	35,632,036
売上総利益	8,159,307	7,260,169
販売費及び一般管理費	6,382,148	6,131,083
営業利益	1,777,158	1,129,085
営業外収益		
受取利息	213	4,407
受取配当金	13,207	13,640
不動産賃貸料	3,051	2,376
その他	12,153	15,994
営業外収益合計	28,627	36,419
営業外費用		
不動産賃貸原価	371	314
解約違約金	529	2,179
その他	4,855	1,458
営業外費用合計	5,755	3,952
経常利益	1,800,031	1,161,552
特別利益		
固定資産売却益	—	1,663
特別利益合計	—	1,663
特別損失		
固定資産除却損	3,618	17,736
減損損失	23,587	44,509
特別損失合計	27,206	62,245
税引前中間純利益	1,772,824	1,100,970
法人税、住民税及び事業税	597,045	389,825
法人税等調整額	2,860	24,581
法人税等合計	599,906	414,407
中間純利益	1,172,917	686,562

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	1,772,824	1,100,970
減価償却費	502,170	533,806
減損損失	23,587	44,509
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,800	6,300
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,400	△5,100
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△3,000	1,100
長期未払金の増減額(△は減少)	△218	△218
受取利息及び受取配当金	△13,421	△18,048
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,663
固定資産除却損	352	0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,853,128	△2,160,279
棚卸資産の増減額(△は増加)	△18,674	△12,758
前払年金費用の増減額(△は増加)	△41,371	△104,873
未収入金の増減額(△は増加)	15,888	9,846
仕入債務の増減額(△は減少)	634,720	666,135
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△102,256	108,544
その他の固定資産の増減額(△は増加)	2,141	23,005
未払費用の増減額(△は減少)	405,261	340,752
未払消費税等の増減額(△は減少)	179,337	△15,316
その他の流動負債の増減額(△は減少)	283,335	388,592
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△105	△53
その他	6,401	2,453
小計	1,750,643	907,704
利息及び配当金の受取額	13,421	16,112
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△584,341	△464,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,179,723	459,669
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△726,372	△1,372,075
有形固定資産の売却による収入	—	1,663
資産除去債務の履行による支出	△639	△2,879
その他	△5,550	△10,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△732,562	△1,384,170
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△2,186	△2,186
自己株式の取得による支出	△277	△707,043
配当金の支払額	△183,837	△183,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186,301	△893,173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	260,860	△1,817,673
現金及び現金同等物の期首残高	18,443,428	18,925,579
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,704,288	17,107,905

## (4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
現金及び預金勘定	18,704,288千円	17,107,905千円
現金及び現金同等物	18,704,288	17,107,905

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自2024年3月1日至2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益計算書 計上額(注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	22,470,887	22,889,885	45,360,773	—	45,360,773
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	22,470,887	22,889,885	45,360,773	—	45,360,773
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,709,714	1,709,714	△1,709,714	—
計	22,470,887	24,599,599	47,070,487	△1,709,714	45,360,773
セグメント利益	957,809	819,353	1,777,162	△4	1,777,158

(注) 1. セグメント利益の調整額△4千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外販事業」において工場資産を減損しております。

なお、当中間会計期間における当該減損損失の計上額は22,811千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間会計期間(自2025年3月1日至2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益計算書 計上額(注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	23,323,254	19,568,951	42,892,205	—	42,892,205
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,323,254	19,568,951	42,892,205	—	42,892,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,540,273	2,540,273	△2,540,273	—
計	23,323,254	22,109,224	45,432,479	△2,540,273	42,892,205
セグメント利益又は損失	1,307,414	△178,133	1,129,281	△195	1,129,085

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△195千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外販事業」において工場資産を減損しております。

なお、当中間会計期間における当該減損損失の計上額は44,509千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 主要な経営指標等の推移

回次		第55期 中間会計期間	第56期 中間会計期間	第55期
会計期間		自2024年3月1日 至2024年8月31日	自2025年3月1日 至2025年8月31日	自2024年3月1日 至2025年2月28日
売上高	(千円)	45,360,773	42,892,205	90,481,370
経常利益	(千円)	1,800,031	1,161,552	3,108,196
中間(当期)純利益	(千円)	1,172,917	686,562	1,948,085
資本金	(千円)	2,002,262	2,002,262	2,002,262
発行済株式総数	(株)	10,000,000	10,000,000	10,000,000
純資産額	(千円)	28,486,676	28,944,645	29,083,839
総資産額	(千円)	38,315,331	38,125,546	37,408,608
1株当たり中間(当期)純利益	(円)	121.22	71.03	201.33
1株当たり配当額	(円)	19.00	19.00	38.00
自己資本比率	(%)	74.3	75.9	77.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,179,723	459,669	2,921,374
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△732,562	△1,384,170	△2,066,801
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	△186,301	△893,173	△372,421
現金及び現金同等物の中間期末(期 末)残高	(千円)	18,704,288	17,107,905	18,925,579

(注) 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり中間(当期)純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。